Engineer

gemtext

リンクを一行ずつ記すテキスト形式

どのようなものか

gemtextはGeminiプロトコルの文書形式です。プレーンなUTF-8テキストで、各行の先頭文字が種類を決めるため、クライアントは上から下への一回の処理でページ全体を表示できます。仕様はGeminiハイパーテキスト形式と呼び、サーバーはメディアタイプ `text/gemini` を付け、ファイルの拡張子は慣例で `.gmi` です。

行は六種類です。 `=>` で始まる行はリンクで、絶対または相対アドレスと、その後の任意のラベルからなります。バッククォート三つの行で整形済みモードを切り替え、その二行に挟まれた内容は等幅フォントで書いたとおりに表示します。ハッシュ記号一つから三つで見出し、アスタリスクと空白でリスト項目、大なり記号で引用を表します。ほかは通常の本文で、クライアントが表示先の画面幅に合わせて折り返します。

```
# 現地の記録

本文一行は、長さによらず一段落です。クライアントが折り返します。

=> /archive/ 以前の記録
=> gemini://example.org/ 別の場所のカプセル

* リストの項目
> 引用した一行
```

仕様はこの六種類を二つの群に分けています。すべてのクライアントが必ず扱う基本の三種類は、本文、リンク、整形済みモードの切り替えです。残る三種類は、最小限のクライアントなら通常のテキストとして表示してもかまいません。形式はこれだけです。太字、斜体、表、本文中の画像、入れ子はなく、文の途中の単語だけをクリック可能にする方法もありません。構文解析器が持つ状態は、整形済みブロック内かどうかの一ビットだけです。

よく比較されるのは、一見似たMarkdownです。違いは用途にあります。Markdownファイルは別のものへ変換する原稿ですが、gemtextはすでに完成した文書で、読者のクライアントだけが描画します。リンクを独立した行に置くという構造上の習慣は、古いGopherメニューから借りています。

概念を判断に生かす

「gemtextとは？」を実際の判断に生かしましょう。その概念を、開発または購入するシステムに結び付けて考えるお手伝いをします。 表示が速く、検索で見つけやすく、文章を変えるたびに料金が発生せず、自社の担当者が編集できるサイトをつくります。

サービスを見る お問い合わせ →

用語の背後にある前提を検証する

解説とリンク先の実績を参考に、プロジェクトについての質問を整理してください。ツールを選ぶ前に、前提を一緒に検討できます。 HTML/HTML5でWebアプリケーション100個を開発 — 100 構築したWebアプリケーション

HTML/HTML5でWebアプリケーション100個を開発 お問い合わせ →

なぜ重要なのか

gemtextを選ぶことは、ページを誰が制御するかを選ぶことです。作者が決めるのは、どの行が見出しやリンクで、どこがコードかという構造です。それ以外、フォント、行の長さ、色、間隔、見出しを目次にするかは、読者のクライアントが決めます。仕様も、作者が表示を精密に制御するための形式ではないと明記します。この制約で負担が軽くなる運営者もいれば、それだけで採用を見送る運営者もいます。一ページでも変換する前に、自分がどちらに当てはまるかを確かめておく方がよいでしょう。

負担が減るのは、不要になるものがあるためです。gemtextのページには、スタイルシート、スクリプト、ウェブフォント、Cookie通知、追跡ピクセルがありません。更新が必要なのは文章だけです。ページは小さく、手でもすぐ書けます。リンク自体が何かを取得することもありません。仕様は、リンクを表示するだけのためにネットワーク接続を開くことを禁じます。読者に知らせず第三者の画像やフォントを読み込むことはできません。

代償も明確です。Geminiクライアントを使う人にしか届かず、ウェブに比べ読者は少数です。フォームはなく、カプセルが入力を求める唯一の方法は、文書内の仕組みではなく、プロトコルのステータスコードです。文章は文中リンクなしで通じなければなりません。HTML用の「詳細は料金ページをご覧ください」は、言葉だけ残り、その場でたどるリンクを失います。gemtextでは、リンクが次の行にあっても意味が通じる文を書く必要があります。

そのため、多くの組織に現実的なのは、ウェブサイトの代わりではなく、同じ原稿とビルドからgemtextも提供することです。この捉え方なら、少ない費用で加えられ、文章の検査にもなります。本文とリンクの行が並ぶだけでも明快なら、構造は初めから言葉にあったのです。

実際の活用例

このサイトはHTMLとともにgemtextでも公開します。ターミナルでEngineerは、`gemini://engineer.company/`を示し、全ページがこの形式でも存在すると説明します。読むクライアントは、ターミナルのAmfora、Lagrange、Bombadilloと、ウィンドウのCastor、Kristallです。理由も述べます。一回のデプロイで書く一つのフォルダーをすべての入口が読むため、gemtext版がHTMLとずれることはありません。gemtextでも読みやすいページは、構造を見た目だけで作っていないページです。

作り方は、サイトをGeminiとGopherへ複製した説明にあります。gemtextは同じビルドの出力形式で、別のツールチェーンではありません。サイト生成ツールに独自のメディアタイプと出力形式を設定し、すべてのページ、セクション、分類語について、HTML版とMarkdown版に加えてGemini文書も生成するようにしました。記録された実装段階では777文書で、同じホストの小さいデーモンが配信しました。新しい形式には、代替表現ではないことを示す指定があります。別のビルド比較では、形式を加えたときに変わったHTMLはゼロバイトでした。後の編集や見た目の変更を測ったものではありません。

そのテンプレートは変換内容を示します。文中リンクを文から出し、言葉は必要な位置に残し、アドレスだけを下の独立した`=>`行へ移します。太字記号を外し、ハイフンの箇条書きをアスタリスクへ変え、コードブロックはそのまま通します。Markdownの囲みとgemtextの整形済みモードの切り替えは、同じバックォート三つだからです。

問題が起きるところ

短い行がつながりません

文章が、節の途中で切れた短い行の不ぞろいな列になります。Markdownでよくするように、原稿を80桁で改行したためです。仕様は、続く短い本文行をクライアントが長い行へ結合することを禁じます。段落ごとに一行で書くか、変換時に同じ段落の折り返し用の改行を結合してから、ファイルへ書いてください。

リンクがカプセルの外へ出ます

最初にたどったリンクがウェブブラウザーを開きます。変換器がすべてのリンクを `https://` で始まる絶対アドレスにしたため、Geminiクライアントが別のプログラムへ渡しました。ナビゲーションには、カプセル内で解決する `/about/` のようなルート相対パスを使い、各ページには、ウェブ版へのリンクを意図的に一つだけ置いてください。

コードが一行につぶれます

例のコードが、開始の囲み記号にくっついた長い一行になります。変換器がコードを文章として扱い、ほかの行と結合したためです。ほかの処理より先に囲みで文書を分割し、整形済みブロックは書いたとおりに通してください。切り替え行に置く代替テキストは、言語名などの短いものにとどめます。

Markdownの記号がそのまま見えます

ハイフンの箇条書き、二重のアスタリスク、下線の見出し、入れ子のリスト、角括弧のリンクが、そのまま表示されます。gemtextは、リスト項目にアスタリスクと空白、見出しにハッシュ記号だけを認識し、文中のマークアップは一切持ちません。出力時に変換するか、初めからgemtextで書いてください。

文が行き先を示しません

「ここをクリック」や「上記のリンクのとおり」とだけあり、どこへ進むか分かりません。リンクは文の外へ移り、残った言葉が行き先を示していなかったためです。リンクのラベルに行き先を書き、文と `=>` 行のそれぞれが、単独でも意味をなすようにしてください。

参考資料

- gemtext記法の短い入門 — プロジェクトによる全種類の行の紹介と、Markdownを知る人向けの説明です。
- Geminiハイパーテキスト形式仕様 — 行の種類、構文解析の状態、折り返し規則、`lang` パラメーター、形式文法を定める規範文書です。
- Geminiネットワークプロトコル仕様 — カプセルがgemtextを返す方法、リクエスト、ステータスコード、クライアントが従うTLSの規則です。
- Project GeminiのFAQ — リンクが独立した行にある理由など、設計の背景です。

用語集

実際の制約に合わせて選ぶ

業務の流れ、既存のインターフェース、変更を必要とする利用者をお知らせください。検証可能な納品内容と、お客様のチームが保守を続けられる引き継ぎ内容を定められます。

料金を見る お問い合わせ →

用語を実務に結び付ける

「gemtextとは？」がお客様の組織にどう当てはまるかをご相談ください。現在のシステムの具体例が一つあれば、話を始められます。

サービスを見る

welcome@engineer.company +45 50 10 61 84 デンマーク、コペンハーゲン

このページを持ち歩く

連絡先カード

心を込めて丁寧に制作： D.

CVR 45969703 · Tagensvej 105C, 3. th, 2200 København N

著作権 © 2025 – 現在 · Engineer ApS · すべての権利を留保します。

印刷元： https://engineer.company/ja/glossary/gemtext/